

REBRANDING Inc.



時代遅れにならない最新トレンドの
ブランド認知を実現する

会社概要

基本情報

社名	リブランディング株式会社
設立	2016年1月
代表者	代表取締役 菊地 将
資本金	2,300万円
所在地	東京都港区赤坂5丁目2-33 Isal Akasaka 19階
資格	有料職業紹介許可番号 13-ユ-309262

主要事業内容

SEO対策・検索エンジン最適化

MEO対策・Googleマップ最適化

風評被害対策・デジタルリスク管理

デジタルリスクCLOUD

AI検索対応コンサルティング

採用コンサルティング

AI検索の台頭：検索環境の変化による対策手法の変化



SEM（検索エンジンマーケティング）における個別施策の限界

⚠ 対策手法の古さ

- ✗ 自社を褒める内容が多い
- ✗ クチコミが放置されている
- ✗ GBPに記載された情報が少ない

🤖 AI検索への未対応

- ✗ SNSやGBPの連携ができていない
- ✗ E-E-A-Tを意識した記事を書けていない
- ✗ 構造化データに対応できていない



AI検索への統合による新しい基準

従来の個別媒体での検索を意識した対策ではなく、各種LLMやGoogle AIモードに読み込まれることを意識した公益性のある発信を、新しい基準で行う必要がある。

■ クロスリブランディングとは



AI検索対応の統合的アプローチ

Google検索・Googleマップ・SNSの3つを連動させることで
AI検索にも自然に対応し、時代遅れにならないブランド認知を実現

■ クロスブランディングの3つの独自性

01



最新の検索ブランドとAI
検索の知見

最新トレンド

Google検索、Googleマップ、
SNS、という広範囲での総合的な
知見を基にした施策を提供可能。

02



AIとRPAによる自動化を
活かした効率的な施策

内製化を可能にするツール

AI・RPA技術を活用した自動化によ
り、広範囲にわたる施策を同時並行で
実施可能。

03



総合的な検索ブラン
ド力を可視化

スコアリング

全ての検索結果をもとにした独
自のスコアリングによりリス
ク・伸びしろが見える化可能。

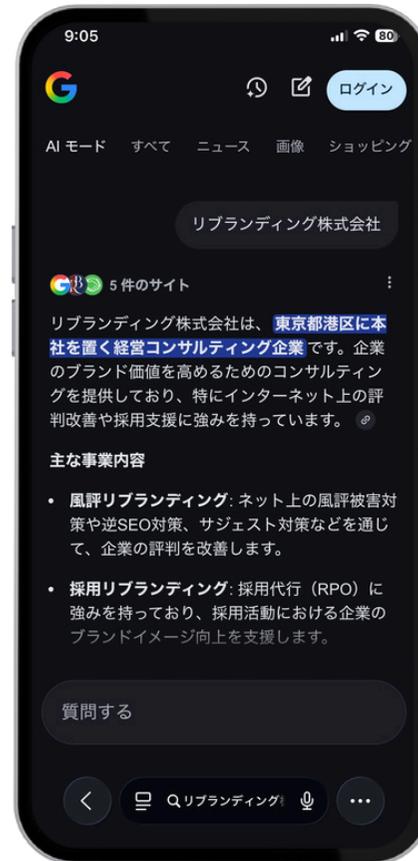
SEO対策：最新トレンド

生成AI検索の台頭

- AIに引用される情報源になるためのSEO戦略
- 構造化データと情報ソース表記が必須
- SNS、GBPとの連動性を評価

検索の多様化

- 画像、音声、動画にメタ情報を正確に付与
- 画像検索、音声検索向けのコンテンツを整備
- 商品、人物などの情報も構造化データへ対応



評価軸の変化

- 記事の構成から執筆はAIで構築可能
- 一次情報を充実させてE-E-A-Tに対応
- トレンド記事を出すまでのスピードも評価

検索体験の変化

- ペルソナの検索意図に合わせたページ設計
- ユーザーの関心、位置、履歴に基づいた構成
- 関連記事との相互リンク

MEO対策：最新トレンド

AI・生成AIとの連携強化

- クチコミが要約して表示される。
- 低評価口コミが要約で可視化される。
- 写真や動画が増えるとAI評価があがる。

SNS・サイテーション

- トーンや内容を揃えてブランドを定着。
- 他サイトでの言及を増やし信頼性を向上。
- メディア露出で第三者の信頼を広げる。



プロフィールのビジュアル重視

- 写真で信頼感と清潔感を伝える。
- 統一デザインでブランドらしさを演出。
- SNSやWebと統一し、ブランド印象を強化。

口コミの質と信頼性の向上

- リアルな声で共感を生む。
- 誠実で具体的な口コミを促進。
- 自然な投稿で信頼と購買を後押し。

風評被害対策：最新トレンド

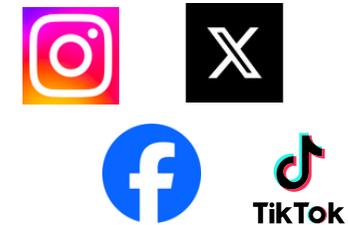
早期発見・自動監視体制の構築

- SNSや口コミのネガティブ動向をAIが自動検知。
- 風評の兆候をリアルタイムに把握。
- 早期発見後にすぐ対応し被害を最小限に抑える。

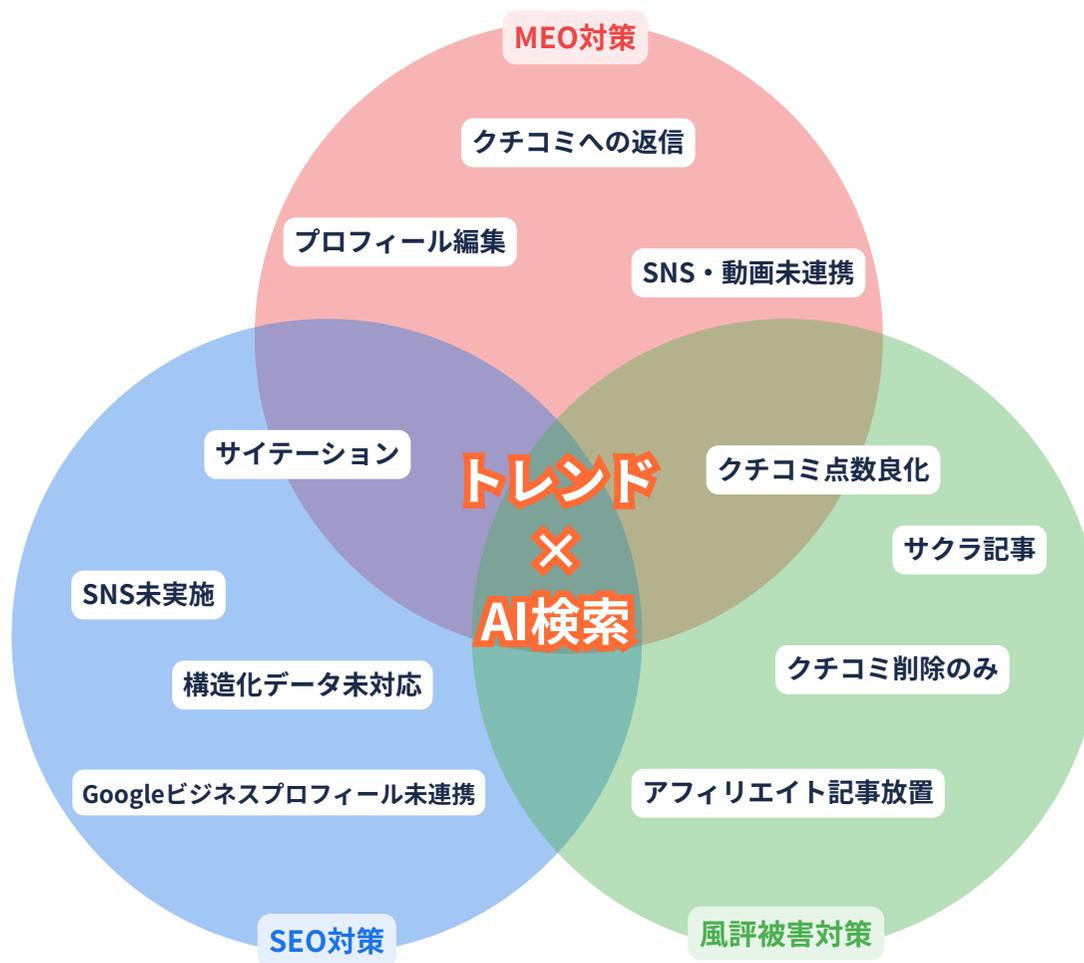


オウンドメディアの情報発信強化

- 正しい情報を自社から発信し誤解や噂を抑止。
- オープンな情報公開が企業の誠実さを伝える。
- 事実を明確に伝える姿勢が信頼を生む。



リブランディング最適化



SEO × MEO × 風評で企業ブランドを最適化する

それぞれの施策を別個に実行するのではなく、見せ方のトレンドやAI検索のアルゴリズムに対応できるような、最重要施策を重点的に実行。

導入フロー



1. サービス紹介

営業チームからサービスの紹介をさせていただきます。**解決したい課題**をご相談ください。



2. 分析・調査

分析・調査を実施します。各施策の対応可否、導入による費用対効果等、**導入検討に必要な情報**を収集します。



3. 見積り概算

見積りを提示します。分析・調査データに加え、社内リソースを勘案して作成する為、**見積り期限**が設定されております。



4. 発注・申込

基本契約書・見積り書への記名捺印をいただきます。**クラウドサインでの締結**を推奨させていただいております。



5. サポート開始

申込手続き後、**最短翌営業日**からサポート可能です。プロジェクトによっては別途サポートメンバーをアサインします。